

# おぢや



# 市議会だより

OJIYA CITY ASSEMBLY

NO. 78

27.10.25

編集発行  
小千谷市議会

☎83-3505



## 東小千谷グローリーファイターズ (東小千谷ミニバスケットボールスポーツ少年団)

約20年前から活動が続いている、小学生を対象にしたミニバスケットボールチームです。東小千谷小学校にて毎週月・木・土曜日は中・高学年、火・水曜日は園児を含む低学年で、勝利よりもハンドリングなどミニバスの基本動作を中心に練習しています。

- 第3回定例会議決結果 … P 2
- 常任委員会報告 … P 3
- 一般質問 … P 4～9
- 第4回定例会開催予定他 … P 9
- 議会日誌 … P 10
- 雪あかり、編集後記 … P 10

— 主な掲載内容 —

この市議会だよりは再生紙を使用しています。

## 第 3 回 定 例 会 議 決 結 果 ( 8 月 31 日 から 9 月 18 日 ま で 開 催 )

| 議案番号等 |        | 議 件 名   | 議決状況 | 議決結果    |
|-------|--------|---|------|---------|
| 条 例   | 議案第40号 | 小千谷市個人情報保護条例の一部改正                                       | 賛成多数 | 原案可決    |
|       | 議案第41号 | 小千谷市職員の退職手当に関する条例の一部改正                                  | 全会一致 | //      |
|       | 議案第42号 | 小千谷市手数料条例の一部改正  | 賛成多数 | //      |
| 予 算   | 議案第43号 | 平成27年度小千谷市一般会計補正予算 (第2号)                                | 全会一致 | //      |
|       | 議案第44号 | 平成27年度小千谷市国民健康保険特別会計補正予算 (第1号)                          | //   | //      |
|       | 議案第45号 | 平成27年度小千谷市介護保険特別会計補正予算 (第1号)                            | //   | //      |
| 決 算   | 議案第46号 | 平成26年度小千谷市一般会計歳入歳出決算認定                                  | 賛成多数 | 認 定     |
|       | 議案第47号 | 平成26年度小千谷市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定                            | //   | //      |
|       | 議案第48号 | 平成26年度小千谷市介護保険特別会計歳入歳出決算認定                              | //   | //      |
|       | 議案第49号 | 平成26年度小千谷市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定                           | //   | //      |
|       | 議案第50号 | 平成26年度小千谷市工業団地事業特別会計歳入歳出決算認定                            | 全会一致 | 認 定     |
|       | 議案第51号 | 平成26年度小千谷市ガス事業会計決算認定                                    | //   | //      |
|       | 議案第52号 | 平成26年度小千谷市水道事業会計の利益の処分及び決算認定                            | //   | 原案可決・認定 |
|       | 議案第53号 | 平成26年度小千谷市工業用水道事業会計の利益の処分及び決算認定                         | //   | //      |
|       | 議案第54号 | 平成26年度小千谷市下水道事業会計の利益の処分及び決算認定                           | //   | //      |
| 請 願   | 請願第3号  | 「学費と教育条件の公私間格差是正にむけ、私立高等学校への私学助成の増額・拡充を求める意見書」の採択に関する請願 | みなし  | 採 択     |
| 発 議   | 発議案第6号 | 学費と教育条件の公私間格差是正にむけ、私立高等学校への私学助成の増額・拡充を求める意見書            | 賛成多数 | 原案可決    |

※議決状況の「みなし」は、その請願に対応した同趣旨の意見書の発議案が提出され、先に採決したので、その議決結果をもって採択または不採択されたものとみなします。

## 議 員 賛 否 の 状 況 ( 採 決 に お いて 賛 否 が 分 か れ た も の )

| 議案番号等  | 議決結果 | 賛成 | 反対 | 森本恵理子 | 住安 康一 | 駒井 和彦 | 大矢 弘光 | 佐藤 栄作 | 上村 行雄 | 内山 博志 | 佐藤 隆一 | 長谷川 有理 | 阿部 正行 | 久保田 陽一 | 山賀 一雄 | 田中 淳 | 本田 剛 | 久保田 久栄 | 風間 順一 |   |
|--------|------|----|----|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|--------|-------|--------|-------|------|------|--------|-------|---|
| 議案第40号 | 原案可決 | 12 | 3  | ○     | ○     | ○     | ○     | ○     | ○     | ×     | ×     | ×      | ○     | ○      | ○     | ○    | ○    | ○      | -     | ○ |
| 議案第42号 | //   | 12 | 3  | ○     | ○     | ○     | ○     | ○     | ○     | ×     | ×     | ×      | ○     | ○      | ○     | ○    | ○    | ○      | -     | ○ |
| 議案第46号 | 認 定  | 14 | 1  | ○     | ○     | ○     | ○     | ○     | ○     | ×     | ○     | ○      | ○     | ○      | ○     | ○    | ○    | ○      | -     | ○ |
| 議案第47号 | //   | 14 | 1  | ○     | ○     | ○     | ○     | ○     | ○     | ×     | ○     | ○      | ○     | ○      | ○     | ○    | ○    | ○      | -     | ○ |
| 議案第48号 | //   | 14 | 1  | ○     | ○     | ○     | ○     | ○     | ○     | ×     | ○     | ○      | ○     | ○      | ○     | ○    | ○    | ○      | -     | ○ |
| 議案第49号 | //   | 14 | 1  | ○     | ○     | ○     | ○     | ○     | ○     | ×     | ○     | ○      | ○     | ○      | ○     | ○    | ○    | ○      | -     | ○ |
| 発議案第6号 | 原案可決 | 14 | 1  | ×     | ○     | ○     | ○     | ○     | ○     | ○     | ○     | ○      | ○     | ○      | ○     | ○    | ○    | ○      | -     | ○ |

○は賛成 ×は反対 議長(久保田久栄)は採決に加わりません。

# 常任委員会報告

## 総務文教委員会

本委員会に付託されました議案9件の内、7件は総務文教委員会単独で、2件は民生産業委員会との連合審査会で慎重に審査した結果、原案とおり可決及び認定すべきものと決しました。また、請願1件も採択すべきものと決しました。

**○議案第40号 小千谷市個人情報保護条例の一部を改正する条例の制定について**

本案は、行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律の公布に伴い、個人番号を含む個人情報取扱について規定するものです。

**○議案第41号 小千谷市職員の退職手当に関する条例の一部を改正する条例の制定について**

本案は、共済年金と厚生年金の統一のための法律改正に伴い、条例中で引用している法律を改めるものです。

**○議案第42号 小千谷市手数料条例の一部を改正する条例の制定について**

本案は、社会保障・税番号制度の個人番号の通知カード及び個人番号カードの再交付手数料及び減免となる条件を規定するものです。

**○議案第43号 平成27年度小千谷市一般会計補正予算(第2**

号)について

本案は、平成26年度決算に伴う財政調整基金積立金、ふるさと納税寄付金の増加に伴う夢のかけ橋基金及び謝礼の増額等の補正を行うものです。歳入歳出それぞれ1億1833万7000円を追加し、歳入歳出予算の総額を1776億4527万6000円とするものです。

**○議案第46号 平成26年度小千谷市一般会計歳入歳出決算認定について**

歳入決算額は、180億5500万3765円、歳出決算額は、176億2035万9437円で、翌年度へ繰り越すべき財源を差し引いた実質収支は、4億3086万4328円の黒字となりました。

**○議案第51号 平成26年度小千谷市ガス事業会計決算認定について**

業務実績は、前年度に比べ供給戸数は10件増の1万5411件、供給量は4・0%減の1737万8371m<sup>3</sup>となりました。経営成績では、2080万9837円の当年度純損失となりました。

**○議案第52号 平成26年度小千谷市水道事業会計の利益の処分及び決算認定について**

業務実績は、前年度に比べ給水戸数は18件減の1万3798件、有収水量は2・0%減の419万2903m<sup>3</sup>となりました。経営成績では、5618万5

033円の当年度純利益となりました。

利益の処分では、未処分利益剰余金のうち減債積立金に3800万円、建設改良積立金に1800万円を積み立て、減債積立金取崩相当額3900万円を自己資本に組み入れるものです。

**○議案第53号 平成26年度小千谷市工業用水道事業会計の利益の処分及び決算認定について**

業務実績は、前年度に比べ給水量は60万833m<sup>3</sup>減の208万602m<sup>3</sup>となりました。経営成績では、3783万5262円の当年度純利益となりました。

利益の処分では、未処分利益剰余金のうち減債積立金取崩相当額4100万円を自己資本に組み入れるものです。

**○議案第54号 平成26年度小千谷市下水道事業会計の利益の処分及び決算認定について**

業務実績は、水洗便所設置済人口は3万3111人で、水洗化率は92・7%となりました。前年度に比べ有収水量は2万4529m<sup>3</sup>減の353万5013m<sup>3</sup>となりました。

経営成績では、地方公営企業会計制度の改正に伴い5億593万3467円の当年度純利益となりました。

利益の処分では、未処分利益剰余金のうち減債積立金に5億600万円を積み立て、減債積立金取崩相当額4億2420万5030円及びびみなし償却

廃止に伴う経過措置相当額11億543万2455円を自己資本に組み入れるものです。

**○請願第3号 「学費と教育条件の公私間格差是正にむけ、私立高等学校への私学助成の増額・拡充を求める意見書」の採択に関する請願**

本請願は、私学助成の増額・拡充を求める意見書を関係機関に送付してほしいとするものです。

## 民生産業委員会

本委員会に付託されました議案6件について、慎重に審査した結果、議案6件全てを原案のとおり可決及び認定すべきものと決しました。

**○議案第44号 平成27年度小千谷市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)について**

本案は、平成26年度の医療に係る保険給付費等の確定に伴う精算によるもので、既定の予算総額に歳入歳出それぞれ3032万9000円を追加し、予算の総額を歳入歳出それぞれ44億2768万1000円とするものです。

**○議案第45号 平成27年度小千谷市介護保険特別会計補正予算(第1号)について**

本案は、平成26年度の介護給付費等の確定に伴う精算によるもので、既定の予算総額に歳入歳出それぞれ1億2893万1000円を追加し、予算の総額を歳入歳出それぞれ39

億9524万8000円とするものです。

**○議案第47号 平成26年度小千谷市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について**

歳入決算額は、38億9454万4737円、歳出決算額は、38億3879万4699円で、歳入歳出差引額5575万38円を翌年度に繰り越すというものです。

**○議案第48号 平成26年度小千谷市介護保険特別会計歳入歳出決算認定について**

歳入決算額は、37億5497万5960円、歳出決算額は、36億1663万8665円で、歳入歳出差引額1億3833万7295円を翌年度へ繰り越すというものです。

**○議案第49号 平成26年度小千谷市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について**

歳入決算額は、6億8163万4028円、歳出決算額は、6億6281万7116円で、歳入歳出差引額1881万6912円を翌年度に繰り越すというものです。

**○議案第50号 平成26年度小千谷市工業団地事業特別会計歳入歳出決算認定について**

歳入決算額は、51万4882円、歳出決算額は、7万9296円で、歳入歳出差引額43万5866円を翌年度へ繰り越すというものです。

## 市政の内容を聞く

# 一般質問

### マイナンバー制度導入と新道路建設について

本田 剛 議員

**質問** システム改修費用の当市の負担は。

**答弁** 制度導入のシステム改修に要した額は約4600万円。システムにより費用の全額、あるいは3分の2が国からの補助、当市の負担額は約800万円です。

**質問** マイナンバーを取り扱う環境について。

**答弁** 取り扱う権限については、パソコンを利用できる職員を指定し、専用個室の想定はない。

**質問** 管理する人数と統合専用端末について。

**答弁** 携わる人数は約150人の見込み、現在の業務用パソコンを理論的なネットワーク分離等で利用、権限を厳格に設定対応、統合専用端末は設置しない。

**質問** 国道291号桜町トンネルから山田町内の新道路の新設の考えは。

**答弁** 現在の道路に関連して、これまで改良や融雪施設整備など実施、さらに迂回路の道路新設の予定はない。

**質問** 農道を市道認定して斎場に直行できるようにならないか。

**答弁** 今後、協議が必要となるので検討していく。



### 非核平和推進事業の取り組みについて

山賀 一雄 議員

**質問** これまで、広島平和記念式典等へ中学生代表を派遣してきたが、その評価は。

**答弁** 派遣された生徒たちは、被爆地での体験を持ち帰り、生徒間で、また、広く市民に非核平和意識の大切さを伝えてきた。

**質問** 代表派遣から修学旅行への補助に方向転換したが、その経緯と効果は。

**答弁** 代表派遣でも非核平和への理解が深まったことは間違いないが、より多くの生徒が被爆地での実体験を通じて非核平和に対する理解が深まると考える。

**質問** 広島平和記念式典への参加意義をどのように考えているか。

**答弁** 平和記念式典に参列する重みと意義は十分に感じられ、修学旅行をきっかけに式典に参列したいとなれば、修学旅行の体験も意義あるものと考えている。

**質問** 非核平和推進事業を取り組む主体性をどのように考えているか。

**答弁** 代表生徒が記念式典に参列することは意義があるものがあるが、多くの生徒から実際に被爆地を訪れ、自分の目、肌で感じてもらうことも、教育効果があると考えている。

**質問** 各中学校の修学旅行の見込みと広島への修学旅行を要請しているのか。

**答弁** 校長会で経費助成制度の説明をし、広島を訪問先として検討願っているが、総合的な教育見地等から各学校の判断を尊重したい。

**質問** 今後の非核平和推進事業の取り組みについて。

**答弁** 修学旅行への経費助成に加え、長崎の原爆写真のパネル展示などを含め、開催場所、時期等を検討して開催したい。

### 生活困窮者自立支援制度と18歳選挙権

住安 康一 議員

#### 4月スタートの支援制度

**質問** 当制度は「待ちの姿勢」ではなく、ネットワークを使つての訪問支援をするアウトリーチの「積極的な働きかけ」が一番大事。具体的なしくみと、相談件数は増加したのか。

**答弁** 外部関係機関や庁内関係課との連携を図りながら、積極的に家庭訪問を実施。相談件数も昨年度より増加。

**質問** 窓口に繋げるためには、関係機関での制度の周知や中身の詳しい教育が大事。現状は。

**答弁** 「小千谷市生活困窮者支援調整会議」を4月に設置。各関係機関と制度周知を含め、運営方法について協議中。民生委員・児童委員の研修会等を開催。

**質問** 相手に合った様々な支援を提供することが重要。任意事業にも取り組むべきと考えるが。

**答弁** ニーズを把握し、検討。

**質問** 18歳選挙権の導入について

**答弁** 現在、若い世代の投票率が低い原因は何か。その対策は。

**選管委員長答弁** 原因は不明

確。対策として、20歳の誕生日に選挙啓発の冊子を郵送。各企業訪問を実施。

【質問】 政治参加の重要性の教育を含め、啓発や周知を今後どのように取り組むのか。

【選挙委員長答弁】 26年度より小中学校を対象に「明るい選挙出前授業」を実施。今後、国・県や教育現場と連携を図りながら対応したい。

【質問】 視覚障がい者用に選挙公報のCD等の配布も検討を。

【選挙委員長答弁】 情報提供の方法を検討。

【質問】 期日前投票のやり方に工夫を。提案として、①宣誓書をホームページよりダウンロード可能に。②投票所入場券ハガキの裏面に宣誓書を印刷しては。【選挙委員長答弁】 他市と情報を交換し検討。

安法法案、原発、住宅リフォーム、国保など

内山 博志 議員

【質問】 安法関連法案は憲法違反という声がある。公務員の憲法遵守、擁護義務についてどう考えるか。意見表明も大事な義務で

はないか。

【質問】 国防問題なので答えられない。

【質問】 福島県の全議会は県内原発の廃炉を求めている。危険な原発は電源としては不適格。小千谷市の同意なしに再稼働すべきではない。東電との安全協定の内容に「事前了解」を求めるべき。佐渡市長は柏崎刈羽原発の再稼働に反対を表明している。

【質問】 国策でやってきた。国民的議論のうえ、国の責任で講ずべき。事前了解は、機会を見て意見を述べたい。

【質問】 緊急告知ラジオは試験放送しか聞いたことがない。広い使い方にも活用すべきではないか。

【質問】 原発過酷事故、土砂災害、洪水など大災害の発生、そのおそれのあるような緊急時に使う。一緒に使用している自治体もあるので検討してみたい。

【質問】 国民年金の収入でも特養ホームに入れるように支援を。

【質問】 負担上限額制度、社会福祉法人の低所得者向け負担軽減制度を利用して欲しい。

【質問】 住宅リフォーム補助金の拡充、制度の継続をする考えは

あるか。

【質問】 年度途中の予算額の補正、拡充は考えていない。継続は、今後の経済状況により判断する。

【質問】 財政調整基金を活用して国民健康保険税の引き下げを。国に交付金などの増額要望を。

【質問】 給付金の積み立てが増加しているため今年度引き下げた。今後も積立金など勘案した上で検討したい。交付金、補助金の増額は全国市長会を通じて要望している。



ゴミ収集有料化の検証と山本山登山道整備について

佐藤 隆一 議員

【質問】 ゴミ収集業務有料化の検証結果について伺います。また、なぜ生ゴミ分別をしないのですか。

【質問】 ゴミ収集業務有料化以降、燃やすゴミは20%、埋め立てゴミは40%減少し、一定の効果があつたと考えています。生ゴミ分別には新たなコストがかかるので考えていません。

【質問】 容器包装プラスチックゴミの分別方法の周知に課題はないのでしょうか。

【質問】 平成10年の発足当初は、分別が徹底しませんでした。しかし、平成27年には適格品率が96.3%にまで向上しています。

【質問】 大原最終処分場の現状と埋め立てゴミの県外搬出について伺います。

【質問】 大原最終処分場の埋め立てについては、県外搬出をしない場合、5、10年で満杯となります。現在、毎年度1600、2000tの焼却灰を4000、5000万円を負担し処理しています。相手先との信頼関係に依存しており、業者からは20年程度は可能と聞いています。

【質問】 山本山にある市民の家が改築されるが、遊歩道を整備し、環境教育の拠点とすべきでは。

【質問】 JR信濃川発電所記念館を活用し、青少年の環境教育の拠点としたいと考えています。

医療介護体制、出生数減少、ビッグデータの活用について

久保田 陽一 議員

【質問】 今後の医療介護体制全体をどのようにサポートするのか。

【質問】 今後開院予定の厚生連小千谷総合病院を核に、市内診療所と連携のうえ救急医療等の環境整備や検診等の予防体制の充実、高度医療は長岡市内の3基幹病院及び魚沼基幹病院との連携をサポートする。介護については介護保険事業計画により、実態にあわせた各種事業を展開する。

【質問】 医療・介護関係者との調整や協力体制は。

【質問】 在宅医療・介護を推進するために、小千谷市在宅医療連携協議会を昨年設立し、研修会等を開催してきた。この協議会を軸に連携を図っていきたい。

【質問】 出生数減少への対応と市長の基本的な考えと決意は。

【質問】 未婚化・非婚率を圧縮するため、婚活事業の拡充や、安心して産み育てられる環境づくりを国・県と連携しながら推進する。

**質問** 第五次総合計画や総合戦略のなかで、RESASをどのように活用したのか。

**答弁** 本年6月に国からシステム供用開始に係る説明を受け、主に総合戦略策定に向けた人口ビジョン、人口動態の分析等に活用。しかし、システム供用から間もなく、農林水産業等のデータ利用がまだなので本格的なシステム運用や活用についてはこれからとなる。



**質問** The Wonder 500の事業に関する情報提供を企業等に行ったのか。

**答弁** この事業について、市として独自に情報把握をしたうえでの情報提供を事業所に対して行うことができなかった。

**地方創生・移住政策  
観光振興等について**

**駒井 和彦 議員**

**質問** 当市の売りは何か。

**答弁** 製造業、高い技術力と人間性。

**質問** 市政懇談会等で得たものは何か。

**答弁** 人口減少問題の共有。  
**質問** コンパクトシティーに対する見解は。

**答弁** 今後のまちづくりの方向性において重要と認識する。

**質問** 総合戦略に中山間地活性化策は盛り込んでいるか。

**答弁** 人の流れやまちづくりの分野に位置づけられると認識。

**質問** 雪の住宅冷房等取り組みは。

**答弁** 投資費用が高額等の課題があり普及していない現状。

**質問** 県のU・イターンコンシェルジュとの連携等はあるか。

**答弁** 現在取り組んでいる。

**質問** 定住支援機関の設置は。

**答弁** 設置の考えはない。

**質問** 市職員採用試験にまちづくり熱意者枠を設けてはどうか。

**答弁** 考えていない。

の人工芝化は。

**答弁** 他施設を含め今後検討する。

**質問** スポーツ合宿に民間施設を利用してはどうか。

**答弁** まず市内の旅館、ホテルの利用と完成予定の市民の家の活用を図りたい。

**質問** パブリックビューイングの総合体育館内設置開催について。

**答弁** 状況に応じ検討したい。

**質問** 商工観光課の在り方は。

**答弁** 組織全体で検討していく。

**質問** サンプラザ内の直売所等整備について。

**答弁** 現時点では考えていない。

**質問** 総務省所管の観光・防災Wi-Fiステーション整備事業の活用を考えてみては。

**答弁** 現在実施している事業もあるが、検討課題としたい。



**住居表示・市民プール・部活動について**

**風間 順一 議員**

**質問** 東小千谷地区の住居表示整備事業について今後の進め方

考え方を伺いたい。

**答弁** 今後当該地区では大規模な公共工事として、都市計画道路「東栄元中子線」の延伸と一級河川「表沢川」の改修が予定されている。これらの進捗状況や地区住民等の意向も踏まえ、実施可能な地区を精査しながら検討してまいりたい。



子育て支援的な施設として活用するには、安全性を確保するなどクリアする要件が多く、現段階では難しいと考えている。

**質問** 小・中学校のクラブ活動について、教育長に伺う。生徒数の多い小千谷中学校になぜサッカー部ができないのか。

**教育長答弁** 小千谷中学校には、以前サッカー部があったが地域のクラブチームなどに所属した生徒は学校の部活動に所属できなかった。そのため部員が減少し廃部となった経緯がある。市内の他の4校もサッカー部はない。

**質問** 既存の部活に入らないと内申点に影響するかどうか。

**教育長答弁** 部活動は希望制であり内申点に影響することはない。

**質問** サッカーを続けるには。

**教育長答弁** 小千谷市や長岡市などにある地域のクラブチームに所属して活動する方法があります。

**農業問題について**

**阿部 正行 議員**

**質問** 人農地プランについて。

〔答弁〕 戸別所得補償制度の関連施策としてスタートし新規営業者への給付、新規農業機械購入時の国の補助金交付等に活用、また、認定農業者制度の拡大に努める。

〔質問〕 農地中間管理機構について。

〔答弁〕 農地の集積が進まない理由として農地の流動化の進展、耕作条件の不利等があるが農家組合長会議でのP.R、基盤整備の進展を図り周知に努めたい。

〔質問〕 多面的機能支払制度について。

〔答弁〕 農業者等活動組織が行う農業農村の地域活動や営農の多面的機能維持のためのもので、担い手の育成等寄与を目的とし農家組合長会議で周知したい。

〔質問〕 基盤整備について。

〔答弁〕 市内においていくつか進展があるが国の補助金を活用しながら進めて行く。

〔質問〕 災害援助協定締結自治体学校給食への小千谷産米使用について。

〔答弁〕 農業団体と提携しながら働きかけたいが価格差という課題もある。

〔質問〕 直売所の新設について。

〔答弁〕 市内にはいくつかの直売

所があるが冬期間の野菜の確保や組織運営等課題があるが、おぢや産農産物P.Rのため関係団体と協議研究したい。

〔質問〕 新規営業者支援について。

〔答弁〕 国の青年就農給付金制度を活用し農業技術、農業簿記等の研修を実施する。



稲の刈り取りが進む山吉地区

### 行政の人員体制と観光振興について

大矢 弘光 議員

〔質問〕 団塊世代の大量退職や地方分権・新社会制度による業務量の増加に対し市職員数は適正であるか。

〔答弁〕 業務の見直し改善や複合的な採用計画により、業務量の適正化に努めている。

〔質問〕 業務内容の高度化・複雑

化に伴う専門的知識と経験を持った行政職員の必要性について。

〔答弁〕 職員の専門職化は自治体規模的に難しいが、重要な課題であると考えており適性を考慮した職員の育成を行っている。

〔質問〕 人事評価制度について。

〔答弁〕 特に人材育成のツールとして効果があると評価している。地方公務員法改正により、平成28年度からの人事評価制度導入に伴い制度的な見直し等を行う。

〔質問〕 小千谷市人材育成基本方針の職員への浸透について。

〔答弁〕 職員へは浸透しているものと理解している。

〔質問〕 観光振興に対する戦略について。

〔答弁〕 経済効果を高めるよう、観光誘客の通年化・滞在の長時間化が必要と考える。また情報ツールの充実により観光客の利便性を高める。

〔質問〕 市所有の2機の熱気球の有効活用について。

〔答弁〕 イベント等で小千谷のP.Rに活用するよう努める。

〔質問〕 熱気球愛好家の担い手減少等による、おぢや風船一揆や熱気球が迎える状況について。

〔答弁〕 風船一揆は特徴ある小千

谷のイベントとして今後も継続していかねばならない。若い世代から熱気球に興味を持ってもらい、講習会等により愛好家育成につながるよう努めていく。



### 田んぼダムとクラインガルテンについて

上村 行雄 議員

〔質問〕 田んぼダム設置後の効果と検証について。

〔答弁〕 平成25年6月に整備済み水田と未整備水田の一部で調査した結果、10アール当たり約74トンの差が得られた。雨水の貯留機能が発揮され下流域の出水調整を果たしているものと考えている。

〔質問〕 維持管理上、仕様書作成

などの必要性について。

〔答弁〕 適正な維持管理を行うためのマニュアル作成について山吉土地改良区と取り組んで行く。

〔質問〕 今後の田んぼダム設置予定について。

〔答弁〕 平成26年度末現在、同意をいただいた未整備の水田が約27ヘクタールあるので整備を引き続き進めていく。

〔質問〕 各流域の住民や農家の方々への聞き取り調査や説明会の必要性について。

〔答弁〕 相互理解は欠くことのできないものと考えられる。取り組みの周知については関係機関とともに検討していく。

〔質問〕 クラインガルテンのラウベ短期利用について。

〔答弁〕 1カ月程度の短期利用は法令等から難しい状況であるが、より多くの方より利用いただけるよう対応を検討していく。

〔質問〕 山本山山頂休憩所の利用方法について。

〔答弁〕 宿泊については、防犯上の理由で利用できないこととしている。喫茶の利用は、食品営業許可手続きを含め協議する。

〔質問〕 ふれあいの里使用料や管理費の見直しについて。

〔答弁〕 決算上では歳出超過と

なっているが、利用者の買い物等による経済効果もあり、考えていない。管理費については協議し効率的な執行に努めていく。



### 道徳教育について

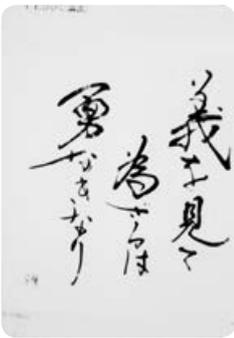
佐藤 栄作 議員

**質問** いじめ問題等社会的に、残虐な事件等が報道されていますが、今、人が本来持っている心、思いやりの心、慈しみの心、信じる心、誠実な心等が失われているのでは、と考え、小中学校での道徳教育に、坐禅と論語を取り入れた教育を実施してはどうか。坐禅は宗教ではなく心を落ち着かせて精神を鍛えるものです。論語については、坐禅と同じ効果があり、なおかつストレスの解消と、何事が起きて

も動じない心、人として生きる考え方、正義の行いをする事を、書いた学面から堯日までの二十編からなる書物です。

**教育長答弁** 小中学校における道徳の時間につきましては、各学校で道徳教育の全体計画に基づいた中で計画的に行われています。昨年度から道徳教育用教材「私たちの道徳」に基づいて授業が行われており、その自身は、様々な物語、伝記、意見文等が掲載され、自分自身を見つめさせたり、社会の一員としての自覚をもたせる内容です。

ちなみに中学校用には、論語の一節「君子は和して同ぜず。小人は同じて和せず。」が載っています。坐禅や論語を取り入れる事は現在のところ考えていません。



**質問** 道徳教育に坐禅と論語を取り入れた教育を受けて、大人になった時に、それを思い出し自分の生きる道を拓いていく

ために取り入れていただきたい。

**教育長答弁** 道徳の時間の教育教材は、各学校が児童生徒の実態とこれまでの計画の中で適切に判断して使用するもので、現在、各学校で行われている道徳教育は成果を上げているため、今後もその取り組みを継続していく。

### 茶郷川、こどもたちの遊ぶ環境に関して

森本 恵理子 議員

**茶郷川河川改修事業に関して**

**質問** 茶郷川は流域面積が広く土川、若葉、城内、千谷川など主要市街地を貫流している。水害が起これば都市機能の麻痺などが想定される。小千谷市全体の課題であると市民が強く認識する必要があるのではないか。

**答弁** 茶郷川沿川には住宅や農地のほか、事業所や公共施設などもあるため、治水対策の促進は流域のみならず本市にとって極めて重要な課題である。また広く市民を対象とした茶郷川問題の啓発や河川整備計画策定への取り組み過程の公開については、茶郷川治水協議会の会報を沿川町内の全戸に回覧している

が、これを更に広く周知することについては、今後検討する。

**質問** 今後、頻発が予想される集中豪雨の対策について。

**答弁** ハザードマップの配布や避難に関する周知・啓発、排水ポンプ車出動要請の円滑化などに努めているが、根本的には河川改修が必要だと考える。



**こどもたちの遊ぶ環境に関して**

**質問** 既存施設の利用率アップを目指して改善する予定は。

**答弁** 魅力ある講座や教室を開催するなど努力する。

**質問** 安心して地域でこどもたちを育てることが出来る総合的な施設の必要性を感じているか。

**答弁** 現段階では新しい総合的な施設の設置は考えていない。

**質問** 防災公園・小千谷病院跡地活用などに、こどもたちの遊び場を取り入れる予定は。

**答弁** 防災公園については、子どもたちが元気に遊べる広場な

どについて検討していきたい。病院跡地活用はどのような機能を導入するべきか検討中。

### 高齢者・障がい者の権利擁護と原子力防災

長谷川 有理 議員

**質問** 当市は成年後見制度の市長申立件数0件が続く。他市は増加傾向。対応、対策は。

**答弁** 今後利用が増える予測。

**質問** 当市の利用支援、法人後見支援、報酬助成事業実績は。

**答弁** 要綱はあるが実績なし。利用しやすい制度への見直しを含め、検討し、市民にPRする。



**質問** 地域包括支援センター等、相談や手続き支援の充実を。

**答弁** 地域包括支援センターの充実や障がい者と高齢者の支援機関の連携を重要視する。

**質問** 法人後見や市民後見人の育成を視野に入れるべき。

〔答弁〕 検討する必要がある。

〔質問〕 県地域医療介護総合確保基金を利用して後見人育成を。

〔答弁〕 今後検討していく。

〔質問〕 内閣府調査で大地震発生時等に孤立の恐れがある集落が当市では戸屋・冬井・塩谷・荷頃・蘭木・岩間木・首沢・朝日・寺沢・中山・小栗山・岩山・池之又・田代・小土山・外之沢・大崩・池之平・源藤山・市之沢・山新田・芹久保・若栃・北山・孫四郎。原発過酷事故発生時、安全や避難をどう確保するのか。

〔答弁〕 衛星携帯電話と緊急告知ラジオを活用し安否確認する。具体的な避難計画は今、答えがない。課題として検討する。

〔質問〕 福祉施設の避難計画は。

〔答弁〕 県で検討中。連携する。

〔質問〕 孤立集落への連絡・救出・避難時に市職員に被曝を考慮して指示・命令が出せるのか。

〔答弁〕 年間1ミッシーベルトを考慮して災害対策本部長である私が指示・命令を出すこともあると考えられる。

〔質問〕 知事と連携し、SPEE D I活用とヨウ素剤配布の要望を。

〔答弁〕 県へ当然要望・提言する。事前配布が望ましいと思う。

## 市議会を傍聴してみませんか

### 第4回定例会開催予定

- 12月3日(木) 第1日 議案上程説明  
12月4日(金)～12月8日(火) 各常任委員会で審査  
12月17日(木) 第2日 一般質問  
12月18日(金) 予備日 一般質問  
(質問者が多い場合に開催)  
12月22日(火) 最終日 委員長報告、採決

※日程は変更される場合があります。各委員会の日程、団体での議会傍聴については議会事務局(☎83-3505)へお問い合わせください。

委員会の傍聴については、あらかじめ議会事務局へお申し出ください。

議会の日程は、市ホームページからご覧いただけます。

〔URL〕 <http://www.city.ojiya.niigata.jp/>



### 議会中継

市議会本会議は市ホームページからインターネットライブ中継でご覧いただけます。

本会議当日のライブ中継のほか、録画映像もご覧いただけます。

(録画映像は本会議終了後、通常、休日(土日・祝祭日等)を除く5日後から1年間ご覧いただけます。)

パソコンだけでなく、スマートフォン、タブレットでもご覧いただけます。

〔URL〕 <http://www.city.ojiya.niigata.jp/>



### 会議録の閲覧

市議会本会議の会議録(平成15年第1回定例会以降)は市ホームページからご覧いただけます。

パソコンだけでなく、スマートフォン、タブレットでもご覧いただけます。

(平成27年第3回定例会の会議録掲載は、11月末頃となります。)

一般質問等の詳細はこちらをご覧ください。

〔URL〕 <http://www.city.ojiya.niigata.jp/>

